

森クリニック新院長

宮田恵吾さん (45) = 大樹



「身近で総合的に相談できる」『プライマリケア』に力を入れた。患者さまのお話を聞かせていただきながら、一緒に病院をつくっていききたい」

4月に医療法人社団慈弘会(森光弘理事長)が運営する森クリニック(大樹町大樹6ノ22)の新院長に就いた。2015年まで2年半、隣接する介護老人保健

日だまり

総合的に相談できる病院に

施設「ケアステーションひかり」の施設長を務めており、2回目の大樹勤務。

長崎県生まれで、森理事長と同じ長崎大卒の内科医。同クリニックは近年、院長が数年で変わっていたが、「ピンチヒッターではなく、しっかり根を張りた」と、意気込む。

診察室内には子ども患者も安心できるよう、「とんりのトトロ」の縫いぐるみも置いた。南十勝唯一の人工透析が受けられる病院で、「皆さまの負担を軽くできるようお手伝いしたい」。

週一回、帯広協会病院で地域医療の研修も受ける。十勝の印象は「景色がとてもいい。よく見えるような眼鏡を新調しました」と笑う。

(眞尾敦)